

カーボンニュートラルに向けて

～CO₂削減の取組みとお客さまへの支援状況～

当金庫は、持続可能な地域社会の実現に向け、気候変動に関連するリスクと機会を認識したうえで、カーボンニュートラル達成に向けた取り組みを強化しています。自らの事業活動における省エネルギーや資源循環の推進に努めるとともに情報開示の充実を図り、金融サービスの提供を通じて脱炭素社会の実現に貢献するため、お客さまの脱炭素化に向けた取り組みを多面的に支援してまいります。

カーボンニュートラルに向けた取り組み

当金庫はカーボンニュートラル実現に向け、再生可能エネルギーへの転換やグリーンモビリティの導入に取り組んでいます。また、地域のカーボンニュートラル実現に向けて、さまざまなソリューションを提案し、積極的に取り組むお客さまを支援しています。

■当金庫の取組みについて

〈TOPICS 1〉太陽光発電設備の設置



環境に配慮した設備を積極的に採り入れた店舗づくりとして、太陽光発電機を一部店舗で設置し、該当店舗でのCO₂排出量大幅削減を実現しています。

〈TOPICS 2〉電気自動車の導入



電気のみで走り、CO₂排出ゼロの環境にやさしい電気自動車を導入。店舗へ電気自動車用充電スタンドを設置し、お客さまも無料でご利用いただけるよう開放しています。

■当金庫のCO₂排出量算定

当金庫のCO₂排出量算出対象は、金庫自体の排出源としてガソリン、ガス、電気の使用と、金庫の事業活動に関する排出源として印刷用紙、水・下水、出張、通勤があります。これらを合算して金庫のCO₂排出量を算出しています。

自金庫の排出

- ・ガソリン
- ・ガス
- ・電気

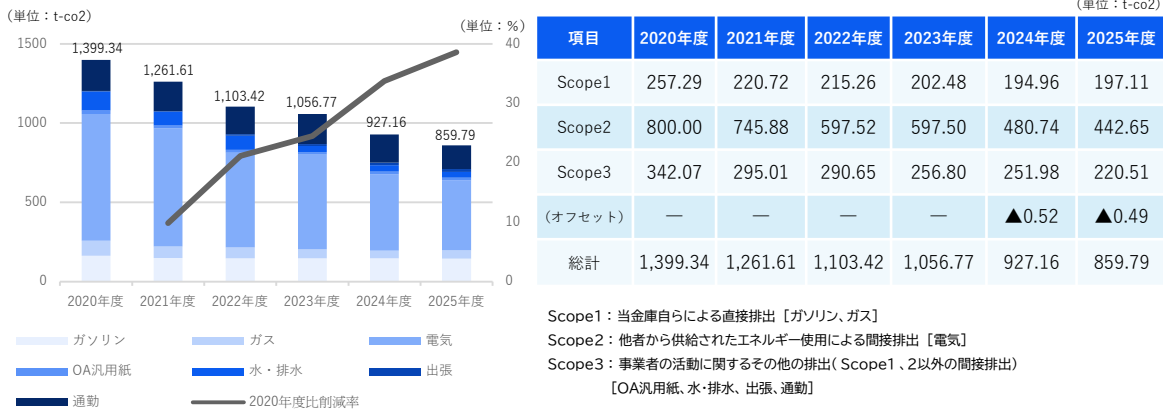
金庫事業活動に関する排出

- ・印刷用紙
- ・出張
- ・水・下水
- ・通勤

■当金庫のCO₂排出量推移

脱炭素社会の実現や社会の持続的発展に貢献していくため、当金庫におけるCO₂排出量を算定しています。2025年度のCO₂排出量は859.79t-CO₂(オフセット後)となり、基準年度である2020年度のCO₂排出量1,399.34tからは539.55t-CO₂(38.56%)削減となりました。

【年度毎のCO₂排出量推移】



・「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「温室効果ガス排出量算定・報告・公表」制度など省庁が公表する所定の方法で算出しています。
・温室効果ガス排出量の算出範囲は、当金庫拠点におけるScope1、Scope2、Scope3。

■お客さま・地域への取組みについて

当金庫では、お客さまの経営改善支援や伴走支援など、多様なニーズに対応するコンサルティング業務を積極的に展開する中で、気候変動による影響も重要な課題として認識し、お客さまのサステナブル経営の支援を開始しております。2022年4月には、中小企業の脱炭素化を支援することを目的として、お客さまサポート部内に「環境チーム」を発足しました。お客さまのカーボンニュートラルに向けた取り組みをサポートし、地域の脱炭素を促進しています。

■CO2排出量削減支援



STEP 1

知る

脱炭素経営が社会や環境に果たす役割を知る

三重県下 3 信金主催・環境省共催の脱炭素セミナー開催

2024年11月、三重県内3信用金庫（北伊勢上野信用金庫、桑名三重信用金庫、紀北信用金庫）は、環境省中部地方環境事務所との共催で、同事務所と一般社団法人環境共創イニシアチブより講師を迎え、脱炭素セミナーを開催しました。脱炭素経営を進めるにあたって有用な補助金や、政府補助がある支援制度について情報提供を実施する内容で、200社以上の事業者様がご参加いただきました。今後もお客さまへ有用な情報提供ができるように努めてまいります。

STEP 2

測る

自社のCO2排出量を把握する

CO2排出量の「見える化」と脱炭素化支援体制の整備

脱炭素化支援の専担者である「環境チーム」によるCO2排出量算出を、金庫手作りのお客さま支援業務の一つとして提供しております。環境チームには環境省が認定する「脱炭素アドバイザー」資格や、地元国立大学が認定を行う「科学的地域環境人材アナリスト」資格保有者が在籍し、国の制度に則ったCO2の見える化を支援します。また、専門機関との業務提携や資源エネルギー庁が立ち上げた「省エネ・地域パートナーシップ」参加機関として、省エネ支援機関との連携体制も整備など、複合的にお客さまの脱炭素化を支援する体制を整えております。

STEP 3

減らす

目標達成に向けた削減施策を実行する

目標設定から実行支援

金庫でのCO2排出量算出支援に続き、排出量削減計画の策定支援も実施。パリ協定で求められる水準の目標と計画を設定する「SBT認定」の取得支援のほか、サステナビリティ・リンク・ローン、省エネ設備融資に対する利子補給制度などの金融支援も対応し、削減策の実行をお手伝いします。

■脱炭素経営支援実績

年度	支援内容	件数
2022年度	排出量算定	2社
2023年度	排出量算定	8社
	SDGsパートナー登録支援	2社
2024年度	排出量算定	13社
	製品別排出量算定	1社
	SBT認定取得支援	1社
2025年度	排出量算定	5社
	製品別排出量算定	2社
	SBT認定取得削減計画策定	1社
	削減計画実行統合報告書作成	1社
	計画策定SBT認定取得	1社
	利子補給対応	1社

当金庫の、お客さま向け脱炭素支援とそれに関連する支援メニューとして、下記の内容に取り組んでいます。

- ・CO2排出量算出(会社全体Scope1～3まで、CFP単体も対応)
- ・排出量削減計画策定支援・関連する認定等の取得支援
- ・専門事業者紹介・取次
- ・サステナビリティ・リンク・ローン
- ・省エネ設備のための融資に対する利子補給制度
- ・カーボンニュートラル特別保証付融資

これらメニューを基に、取り組み中の支援を含め、今まで排出量算定をメインに38件の脱炭素経営支援を行ってまいりました。
(排出量算定28件、SDGsパートナー登録支援2件、SBT認定取得支援3件、その他5件)

脱炭素対応については統括を総合企画部、当金庫のCO2排出量管理と削減を総務部、お客さまの脱炭素化支援業務をお客さまサポート部がそれぞれ担当し、金庫自身・お客さま・ひいては地域全体の脱炭素を進め、地球温暖化の抑制と持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。